

患者の皆さまへ

2020 年 12 月 18 日

精神神経科

社会精神保健教育研究センター

現在、千葉大学大学院医学研究院精神医学教室では、千葉県精神科医療センター（千葉市）と共同で、「統合失調症患者における抗精神病薬持効性注射剤による長期治療の実態調査」を実施しています。患者様の過去の抗精神病薬持効性注射剤治療に関する診療情報を用いて、ご病状の経過に関する知見を得ることを目的としています。以下に該当する患者様については、診療情報を利用させて頂くことがあります。詳しくお知りになりたい方、また利用をご希望されない方につきましては、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「統合失調症患者における抗精神病薬持効性注射剤による長期治療の実態調査」

2. 研究の意義・目的

抗精神病薬持効性注射剤による治療は、病状の安定化につながる可能性が言われています。しかしこの良好な治療成績は主に短期間の観察からのデータにもとづいています。中長期的（例えば 3 年以上）継続した場合の有効性・安全性に関する知見は少ない現状があります。そこで本調査では、当院における患者様で持効性注射剤による治療経過を調査し、長期治療における有効性・安全性に関わる知見を得ることを目的としています。

3. 研究の方法

2001 年 1 月～2020 年 12 月までに当院精神神経科で治療を受けた患者様で、以下の条件全てを満たす方が調査対象となります。

- ・統合失調症または統合失調感情障害の診断の患者様
- ・持効性注射剤による治療導入が 2017 年 12 月以前になされ、導入後の診療が 3 年以上経過している患者様
- ・持効性注射剤導入以前の当院での診療が 3 年以上ある患者様
- ・未成年（20 歳未満）の患者様は除きます。

該当する患者様の診療録から、持効性注射剤導入前と導入後における病状に関わる情報（入院回数や入院期間）、薬物療法に関わる情報（持効性注射剤と内服薬の種類）についての情報を抽出して行きます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に漏れることの無いように厳重に管理します。研究成果の発表にあたって、患者様の氏名などは一切公表しません。研究に関わる記録等は千葉大学大学院医学研究院精神医学教室の鍵のかかる棚で保管されます。

5. 研究に診療情報を利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合は、原則して結果の公開前であれば、調査の対象に含めないこととしておりますので、下記の窓口にお申し出ください。

本研究は文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に遵守して実施されています。

研究実施機関：千葉大学社会精神保健教育研究センター

本件のお問合せ先：精神神経科 医師 金原信久

0 4 3 - 2 2 2 - 7 1 7 1